



アイ・シーたんなんだより 公立丹南病院

栄養室の紹介

栄養室では病院職員：管理栄養士3名と調理師1名、委託職員（給食業務委託）：管理栄養士1名、栄養士2名、調理員18名の合計25名のメンバーが働いています。栄養室の主な仕事は栄養指導、栄養管理、特定保健指導、給食管理、食器洗浄など挙げられますが、今回は特定保健指導の紹介をさせていただきます。

いまや“メタボ”とよばれすっかり有名になった“メタボリックシンドローム”。内臓の周囲に脂肪がたまる肥満（内臓脂肪型肥満）に加えて、「高血糖」「脂質異常症」「高血圧」といった生活習慣病の危険因子を複数併せ持っている状態で、数々の怖い病気・合併症の温床になるといわれています。

近年の研究で内臓脂肪を減らすことで、これらの発病を予防できることが明らかにされてきました。そこでメタボリックシンドロームの



リスクを発見し、生活習慣の改善につなげていこうということで、特定健康診査や特定保健指導が出来ました。ここで私たち管理栄養士は特定保健指導を担当させて頂いております。この特定保健指導では健診の結果、生活の改善が必要とされた方の状態に応じて、「動機付け支援」や「積極的支援」などを行うことで、糖尿病などの生活習慣病の有病者・予備群を減少させることを目的としています。

食事や生活習慣の必要な方にかかわり、“一人でも多く予備軍から脱却!”を目標に頑張っています。

日本医療機能評価機構による病院機能評価 Ver.5 に合格し、認定を更新することができました。

公立 丹南病院

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31

公立 丹南病院

TEL:0778-51-2260 FAX:0778-52-8620
ホームページ: <http://www.jadecom.or.jp/jadecomhp/tannan/html/>
メールアドレス: tannan-info@jadecom.or.jp

通所リハビリセンター アイ・シーなごみの里

TEL:0778-51-5234 FAX:0778-51-8242
福祉車両による送迎も行っております。

〒916-0021 福井県鯖江市三六町1-3-16-101

公立 丹南病院 居宅介護支援事業所

TEL:0778-52-2050 FAX:0778-52-2151
介護保険のことなら、なんでもご相談ください。
(車椅子・ベッドのレンタル、住宅改修など)

公立 丹南病院 訪問看護ステーション

TEL:0778-52-2050 FAX:0778-52-2151
ご本人だけでなく、支えているご家族もサポートします。



野の花診療所の徳永進先生をお招きし、11月22日に医学看護公開教育セミナーを鸛陽会館で行いました

手術室の紹介



公立丹南病院 手術室師長 山田美佳

手術を受けるということは、人生の大きなイベントであり、非日常のことです。手術室で働く看護師は、ドラマの手術シーンやドキュメンタリーの手術シーンから、医師にメスや器械を手渡している姿や、マスクと帽子に身を包まれた姿を想像されるのではないのでしょうか。優しいとか天使というよりは、冷静沈着で冷たいというイメージなのかもしれません。しかし私たち手術室看護師は患者様に安心して手術を受けていただくために、日々努力していますのでその一部を紹介します。

手術が決まりましたらまず患者様のところへ直接担当する看護師が向かい、手術室に入室されてから手術が始まるまでの様子について、パンフレットをもとに説明しています。その中では手術室に持参したい物や室内で聴きたい音楽などについても尋ねています。好きな音楽を聴くことでリラックスし、愛着のあるもの、大切なものがそばにあることで心が落ち着くのではないかと考えるからです。手術室入室の際もベッドや車椅子ではなく、出来る限り歩行で病室からゆつくりと入室してもらっています。少しでもリラックスし、患者様自身の思いを取り入れた自分らしい手術スタイルを築ければと考えています。

手術を受けられる方、どんなところか不安があればいつでも手術室にお立ち寄りください。

緩和ケアチームのご紹介

緩和ケアチーム
外科 北島竜美

公立丹南病院はがん医療にも取り組んでいます。平成19年に制定されたがん対策基本法およびがん対策推進基本計画にも盛り込まれている緩和医療や緩和ケアについて、約4年前からチーム医療を行っています。

当院には緩和ケア病棟はなく、一般急性期病棟で緩和ケアを行っています。緩和医療の専従医師や緩和ケア認定看護師は配置していませんが、緩和ケアチームのメンバーは短期的な研修やセミナー、学会活動に参加しながら、自己研鑽を積んでいます。

現在のところ、主治医や病棟と外来の担

当看護師、訪問看護師の後方支援を主にしていますが、今後は患者さんやご家族の方に直接面談したり、教育セミナーなどを開いたりして、がん医療だけでなく生活支援や心理サポートなども積極的に行っていきたいと考えています。

院内外で緩和医療に対する意識は高まりつつあります。近隣の医療機関・在宅医師と密に連携を取り合いながら、在宅ホスピスケアの充実を図り、地域的ながん医療や緩和医療のネットワーク構築にも寄与していきます。



生きる勇氣

かんわ
緩和ケア

がん治療

おぼえてください、『緩和ケア』。